

九小の学力向上

多様な言語活動による思考力・判断力の育成

ICT 機器の活用による活動の見える化

GIGA 端末（タブレット）による意見交流



一人一台端末を始めとした ICT 機器の活用により、視覚的な理解度のアップやコミュニケーションの活性化につながっています。



調べ学習のツールとして
（動画視聴等）



GIGA 端末によるデータの取込み等、機能の活用

教材提示装置（実物投影機）の常時活用

学校図書館の活用と読書指導

朝読書と読書週間

図書支援員によるブックトーク

学校図書館には、読書、学習、情報の3つのセンターとしての役割があります。読書旬間の取組等本と親しむ活動をしています。



図書ボランティアによる読み聞かせ

読書感想文の全校的取組

基礎的・基本的な学力の定着と習慣化

基礎・基本の確実な理解と定着

週3回の朝学習（九小タイム）



朝の英語タイム（九小タイム）

朝の九小タイムは、習熟や定着を図る時間でもあり、普段できない活動を行う時間でもあります。



東京ベーシックドリルの全校的取組

個に応じた指導の充実



習熟度別少人数指導の充実



丁寧で細やかな机間指導

学力PUサポーターの個別指導



授業中の丁寧な机間指導始め、少人数指導等様々な場面で個に応じた指導を取り入れています。

検定等の実施による基礎基本定着

年度末の漢字検定の実施



毎年、3学期に、学校を会場とした漢字検定を実施しています。1年生から6年生までの希望者のみですが、3割から4割の児童が申し込んでいる状況です。

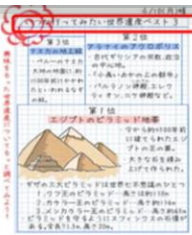
他にも学年や学級ごとに九九の検定や詩の朗読会等、児童の実態に合わせて適宜行っています。

家庭学習の定着と習慣化

家庭学習等、学習習慣の確立

自分で学ぶ
自学ノート

自学ノートのススメ



各学年の家庭学習の実態を調査し、学校としての家庭学習のルールを定めました。また、一人一台端末でeライブラリ等、ドリル型アプリを利用して自学自習の定着に向けた取組を行っています。



eライブラリ等デジタル教材活用

家庭学習のやくそく

令和4年度の家庭学習

- 宿題の内容・量は、学年×10分となるように年度初めに検討し、学年で揃えること。
 - 宿題の出し方（毎日、1週間分まとめる等）は、学年で揃えること。
 - 低学年、中学年は、基本的に音読を宿題に入れること。（高学年は単元に応じて行う）
 - 漢字ノートは、低学年まで補助付きノート（らくらくノート等）を使用してもよい。中
学年からは学習方法を身に付けさせることを目指し、ノートの使用例を示した上で方眼ノート等を使用する。
 - 計算ノートは、全学年で補助付きノート（らくらくノート等）を使用してもよい。方眼ノートを使用させる際には、ノートの使用例を示す。
- ※児童の実態によって、学年で統一してある場合は変更があってもよい。

学習・授業規律の確立と周知徹底

ノートの書き方指導を標準化

九小 学習ルール

- ① **チャイムを守ろう** まも
- ② **学習に集中しよう** がくしやう しんしゅつちゆう
- ③ **「はい」と返事をしよう** へんじ

九小 ギガのきまり

- ㊦ いせつに つかう
- ㊧ れしたい!の きよかをえる
- ㊨ せない
- ㊩ いたままに しない
- ㊪ すしいばしょで つかう
- ㊫ まって じゅうでん



九小 ギガのきまり



10の学習ルールを焦点化した九小学習ルールを徹底

- #### 10の学習ルール
- 1 チャイムが鳴ったら、さっと席に着いている。
 - 2 授業が始まる時に教科書、ノートなどを机の上に出している。
 - 3 授業中、必要のないものを机の上に出さない。
 - 4 先生に名前を呼ばれたら「はい」と返事をしている。
 - 5 授業中、前手を向いてきちんと座っている。
 - 6 授業中、勝手に席を離れない。
 - 7 授業中、勝手にしゃべりはしない。
 - 8 手を挙げてから発言している。
 - 9 手を挙げる時、むじをさっすく伸ばしている。
 - 10 宿題をきちんとやっせてきている。



聞き方名人・話し方名人

10の学習ルールを見直し、覚えやすく定着しやすいものにしました。一定のスタンダードは指導の継続性を促します。

対話的な活動による問題解決学習等授業改善

問題解決型の学習



授業改善推進プランに基づいた授業



ペアやグループによる対話的活動



対話的な活動を対面、オンライン等で行い、自分の考えを広げ深めることで、思考力、判断力の育成につなげています。そのため問題解決的な課題提示や振り返りによる次への見通し等も、対話的な学習を効果的に推進するために必要なことです。

先の見通しをもたせる工夫



振り返りによる思考の整理



ユニバーサル・デザインの教育

ICT の活用による視覚化

実物投影機の効果的活用



一人一台端末の活用



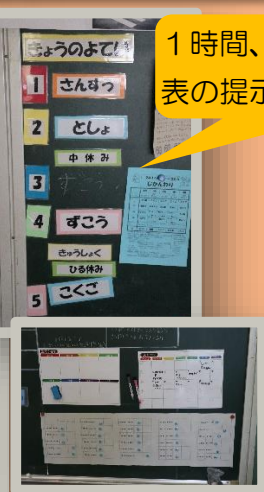
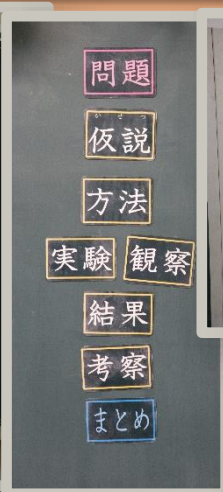
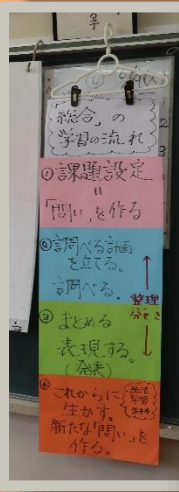
デジタル教材の活用



GIGAスクール構想による一人一台端末の導入により、ICT機器の授業での活用頻度が増え、効果を発揮しています。

スケジュールや学習の記録の提示

学習の軌跡の掲示



1時間、1単元、1日の予定表の提示

先の見通しをもたせることは、安心感につながります。スケジュールなども教室に掲示していると計画的に行動できます。



教室環境の整備

黒板周りの掲示物を限定



特別教室の連絡掲示板



楽しかった思い出 行事の振り返り



教室内の整理整頓はもちろんの事、教室の掲示にも工夫があります。黒板周りの掲示をすっきりさせ、教室の側面や後面に掲示するなどしています。